

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 ひびきが丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

- ・男子は運動やスポーツをすることが好きと答えている児童の割合が全国よりかなり高く、女子も高い傾向である。また、運動やスポーツは大切なものであると答えている児童の割合は、男子、女子共に全国より高い。学校の体育以外の運動やスポーツの時間も比較的全国平均よりも多い傾向である。
- ・男子も女子も平日にテレビやDVD、スマートフォンなどの画面を見る時間が全国より長い。朝食は毎日食べるかについては、男子が毎日食べているという割合が全国より高いが、女子は若干低い傾向である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・体育の時間には、本市主催のパワーアッププラン研修を基にした授業提案を体育専科が継続的に実践し、教職員で共通理解した。運動やスポーツをすることについては肯定的な回答が多い。体づくりや健康の基盤となる生活習慣の形成について、保健体育や家庭科、特別活動等の時間を生かして指導していく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・本年度はもコロナウイルス感染症対策の為、15分休みに行っていた一校一取組はできなかった。しかし、2学期に行った運動会に代わる行事「ひびきっ子 スポーツデイ」をきっかけに運動への意欲を持続させることができた。また、5・6年生や健康委員会を中心として、世界体操やオリンピックへの取組に関わることでスポーツを見ることへの関心を高めることができた。